

だるような曇りの中、40の代表校のほか、昨夏の覇者・早実の川西啓介主将が優勝旗を持って入場。念入りに優勝旗返還とレプリカの授与の段取りを確かめていた。

東東京代表の帝京は大会第三日の十日に駒大岩見沢（北北海道）と、西東京代表の創価は同第四日の十一日に愛工大名電（愛知）と対戦する。

（原昌志）

画案 都市変更 都変

文京区に差し戻しへ

区都計審「課題残る」

文京区の元町公園移転画審議会は六日、諮問と計画について、区都市計

審議会は六日、諮問と計画について、「検討すべき課題が残っている」などとして、区に差し戻すことを決めた。近く区長に答申する。歴史的文化的価値が指摘され反論意見

があつた移転問題。区は計画の仕切り直しを迫られることになった。区は老朽化した総合体育館を元町公園の敷地に

移設するため、公園を隣接する旧元町小学校跡地に移す都市計画変更案を作り、昨年七月、区都計審に諮問。区都計審の委員の中でも意見が割れ、継続審議が続いていた。

原爆投下直後の広島の惨状を描いた連作「原爆の図」で知られる故丸木位里、俊夫妻の作品を展示する「原爆の図展」が八日から、文京シビックセンター（文京区春日）で開かれる。

区民らでつくる「原爆の図」を見る会・文京が一年から開いている。今回は、十五の作品から成る「原爆の図」のうち「第一

広島の惨状 伝え



部幽霊」＝写真Ⅱの軸装レプリカを展示。被爆者が描いた作品八点も展示する。十一日午後二時から原爆の図を舞踏で表現している文京で「原爆図」きよつから展示和泉舞さんのパフォーマンスもある。十一日まで。午前九時～午後六時（最終日は同五時まで）。入場無料。